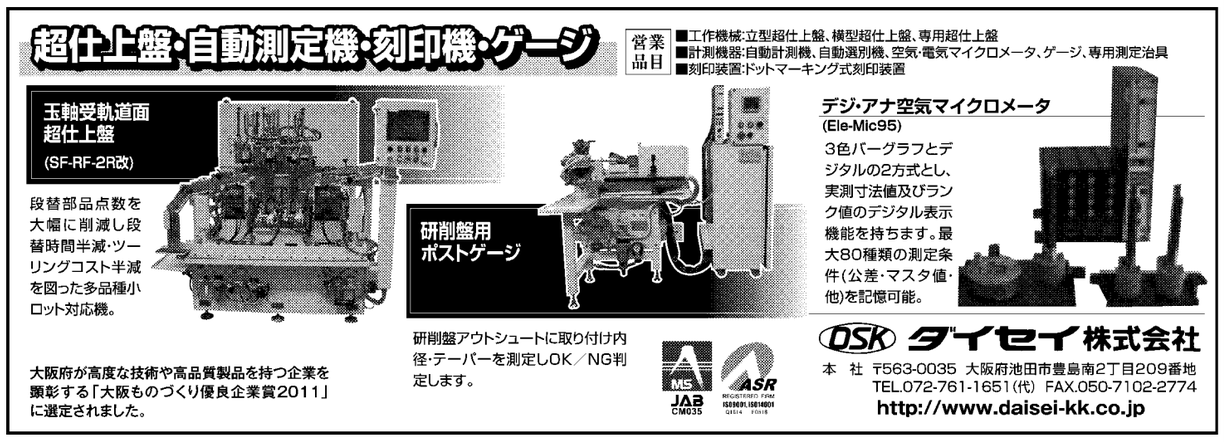

三旺

三旺（STO）は高品質・低価格にこだわった、オリジナル中国製ベアリングを開発・販売するパイオニア。ボールベアリング、ピローブロック、大型軸受、その他豊富な種類のベアリングを取り扱い、即納体制も魅力。また、環境に適したステンレスやセラミックの素材も多数取りそろえている。

実績においても、工作機械・ハイテク産業機械・食品機械など、さまざまなユーザーに採用されてきた。日本国内だけではなく、中国、米国、東南アジアなどにも市場を持っている。コストダウンの協力、特注品や加工品の相談も受け付けており、さまざまなニーズに対応している。

ダイセイ

ダイセイは1957年設立。精密部品を検査する測定治具と自動計測機、各種軸受の超仕上げ加工用工作機械の製造を事業の柱とする提案型企業として高精度・超精密が求められる業界・分野で技術力を発揮し、高い評価を得ている。

玉軸受軌道面超仕上げ盤「SF−RF−R改」は各種ベアリング軌道面を超仕上げする。「SF−RF−2R改」は段取り替え部品点数を大幅に削減し、段取り替え時間半減・段取り部品コスト半減を図った多品種小ロット対応機だ。同社は自動車用ハブフランジベアリング、ウオーターポンプベアリングなど多彩な機種の超仕上げ盤を設計・製作している。

宇都宮機器

宇都宮機器は1953年の創業以来、純国産技術によるニードルローラーベアリングの専業メーカーとして発展。ベアリング製品をグローバルで展開するジェイテクトグループの一翼を担う。製品は自動車の変速機やカーエアコン用コンプレッサー、二輪車のコンロッド、また風力発電の減速機などに広く用いられている。

企業の社会的責任を強く意識した生産活動は、安全衛生において内閣総理大臣賞を、地球環境に配慮した活動はエネルギー管理優良事業者として関東経済産業局長賞を受賞するなど高く評価されている。今後、さらなる低トルク製品の開発を進め、エネルギー効率向上に努めていく。

ジェイテクト

ジェイテクトは産業を支える軸受や工作機械、自動車部品の事業を持つ世界でも例を見ないサプライヤー。市場のトレンドに先駆けた魅力のある標準化、シリーズ化、ユニット化した商品を提示し、顧客の競争力向上に貢献するシステムサプライヤーを目指している。

また、3事業ブランドの位置付けと一体感を明確にすることを目的に、軸受ブランド「Koyo」、工作機械ブランド「TOYODA」、ステアリング・駆動ユニットブランド「JTEKT」を統合した「ブランド統合ロゴマーク」を制定し、三つのブランドに約束された確かな技術力で豊かな社会づくりに貢献していく。

不二越

不二越は「夢をかなえる、ものづくり企業を目指して」をスローガンに、多様なソリューションを提供し、モノづくりの世界の発展に貢献している。

同社は小型搬送機、位置決めテーブルの長寿命化、高性能化に応えるため、精密アンギュラ玉軸受のXYシリーズを開発・商品化した。この商品はビックボール化と内部設計最適化により、70、72シリーズと同一寸法でありながら耐久性、耐荷重性を大幅に向上させた。

また、工作機械用の高精度化、高速化に応えるため、精密軸受に、外内径寸法精度、回転精度を抑えた新精度等級（4F級、4N級）を設定し、ラインアップをした。

THK

THKは「LMガイド（直線運動案内）」のパイオニアであり、世界シェア№1を誇る機械要素部品メーカー。

同社は静圧案内に匹敵する超低ウェービング性能とローラーガイドを凌ぐ超々高剛性を実現した「ボールリテーナ入りLMガイド（SPR／SPS形）」、LMガイドで培ったリテーナー技術を展開させた「ボールねじ（SBKH形）」や「ボールスプライン（SLS形）」のほか、内輪・外輪ともに一体構造にすることで高い部品剛性を持つ「アンギュラローラーリング（RW形）」などを開発・製品化し、広く産業界の発展に貢献している。

瑞井精工

瑞井精工は1967年の創業以来、ニードルローラーの専門メーカーとして、ベアリングローラー、自動車重要保安部品、精密機械部品を幅広い分野に供給している。

「存在価値の高い企業」を目指し、ニードルローラー問わず精密シャフト・極小ピンまでシーズを広げ、「容易に入手できない」精度品、特殊材質、異形状品もタイムリーに提供できる柔軟性を兼ね備えた体制を確立。近年、軸受鋼（SUJ2）以外の高耐食材、非磁性材、高強度材にも同様の精度、品質、価格で対応できるコア技術の向上を図っている。「カスタマーディライト＝顧客感動」を第一に、ホスピタリティーに富んだ企業をさらに目指していく。

南海精工所

南海精工所は1946年の創業以来、一貫して高品質なベアリングの開発・製造・販売に携わってきた。近年はさまざまな分野で技術の発展に伴い、腐食・高温・真空・液中など過酷な環境で使用できるベアリングの開発や長寿命化が求められている。同社は多品種・少量の生産体制を確立し、多様化するニーズに効率的に対応しており、各種ステンレス材料やセラミックス・高ニッケル合金・チタンなどの材料を用いたベアリングを製造。また、調心機能付きステンレスベアリング、無潤滑で使用可能なグリースレスベアリングなど、用途に応じたベアリングを開発し、産業装置の高性能化に貢献している。

富士製作所

富士製作所はプレスベアリングや樹脂ローラーなどのコンベヤーコンポーネントメーカー。1939年の創業以来、コンベヤー・キャスター・建築・自動車用部品などの開発・設計・製造を行っている。製品精度を左右する金型加工、外輪・内輪加工から組み立てまで一貫生産し、耐久性テストを繰り返すなど品質管理にも万全の体制を整えている。また、材料・工程・加工などの見直しで、精度向上とコスト削減にも取り組んでいる。

「形を造るだけ」ではなく「新たなものを生み出し続ける創造性」をモットーに世界へ通用する「真の国際標準化企業」を目指している。

日本精工

日本精工は1916年に日本で最初に軸受を生産して以来、軸受、精機製品、自動車部品の生産・開発を通して、産業の発展と機械の進歩に大きく貢献してきた。

オフィスビルや工場などの大規模施設の空調設備向けに「高効率ターボ冷凍機用低トルク転がり軸受」を開発した際は、航空機向け軸受で培った高速対応技術を適用することで保持器形状や潤滑仕様を最適化し、高効率ターボ冷凍機用軸受の転がり化を世界で初めて実現。従来のすべり軸受の1・5倍の高速回転域でも高信頼性を確保し、摩擦損失を半減した。今後もグローバル規模で顧客の期待以上のサービスとソリューションを提供する真のパートナーを目指す。